

「手話サポーター養成事業」 関連講義の案内

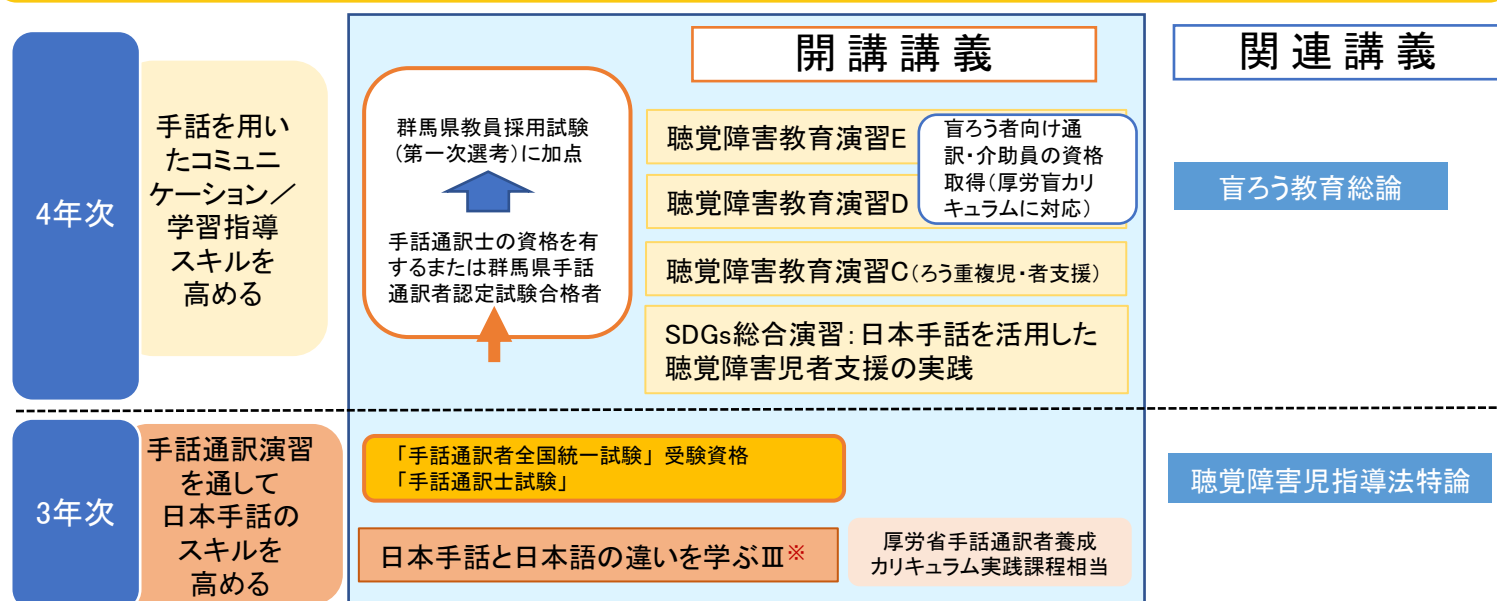
学校で求められる
手話の技術を磨きたい

手話で指導ができる／
手話通訳ができる
教員になりたい！

ろう重複児・者と
関われる専門職を
目指したい

…という人なら誰でも**受講可能**です！

本事業のプログラムを通じて、3年次では、手話通訳の資格取得も可能な通訳演習学習により日本手話のスキルを高めます。その上で4年次に、ろう重複児者を含め、手話を用いたコミュニケーション支援／学習指導におけるスキル習得も目指します。



※の講義は卒業単位となりますが、教員免許の単位には含まれません。

4年生になったら・・・

■聴覚特別支援学校教員向けの手話技術を磨きたい！

「SDGs総合演習: 日本手話を活用した聴覚障害児者支援の実践」



中野聡子先生 白澤麻弓先生 など

教育場面で使える、聴覚障害児・者の特性やニーズに即した手話コミュニケーションと手話通訳の技術を習得します！

■盲ろう者向け通訳・介助員の資格を取りたい！



前田晃秀先生

- ・盲ろう者当事者と触手話でのコミュニケーション実習
- ・指点字のコミュニケーション実習
- ・盲ろう児者の移動介助実習 など

講義受講と、盲ろう者(聴覚障害と視覚障害を併せ有する人たち)の団体である「群馬盲ろう者つるの会」イベントボランティア活動(3回以上参加)をすることで、群馬県の盲ろう者向け通訳・介助員の資格が取得できます。

ろう重複児・者への支援について学びたい場合

- ・「聴覚障害教育演習C」…ろう重複児者をとりまく課題について学習
- ・聴覚障害と他の障害(知的障害、視覚障害など)を併せ有する「ろう重複児・者」への支援を学ぶための課外活動があります！

ろう重複児・者と交流する企画の運営・参加

ろう重複者との交流企画



ろう重複者が集まる居場所づくりなどの実践を通してろう重複児・者への支援技術を学びます。

写真引用: <https://sites.google.com/a/gunma-u.ac.jp/kanazawalab/tomato>

(コロナ禍のため、ろう重複児・者と交流する企画運営・参加や「群馬盲ろう者つるの会」ボランティア活動等が難しい場合もあります)

【問い合わせ先】 日本財団手話サポーター養成プロジェクト室

(7号館B107) Email: signstaff@ml.gunma-u.ac.jp

公式LINE:

